

第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会

岡田先生



川口先生



山崎先生



保坂様



司会は、多職種連携研修作業部会の水越様



開会の挨拶は、北美原クリニック
岡田先生



閉会の挨拶は、函館薬剤師会
会長の柳原様



グループワークの座長は、
情報共有ツール作業部会メンバーの
松野様



グループワークの様子
24グループに分かれ、自由に語って書きました🍷(^^)/











懇親会での様子
テーブル立食で食事を楽しみながら語り合いました



懇親会の司会は、多職種連携研修作業部会メンバー
益井様



懇親会の開会挨拶は、多職種連携研修作業部会
部長 阿部様



懇親会の閉会挨拶は、多職種連携研修作業部会
副部長 川口先生

研修会でも懇親会でも写真撮影をしてくださった
多職種連携研修作業部会メンバー
益井様



懇親会では歌を唄って
くださった福德先生
素敵な歌声♪

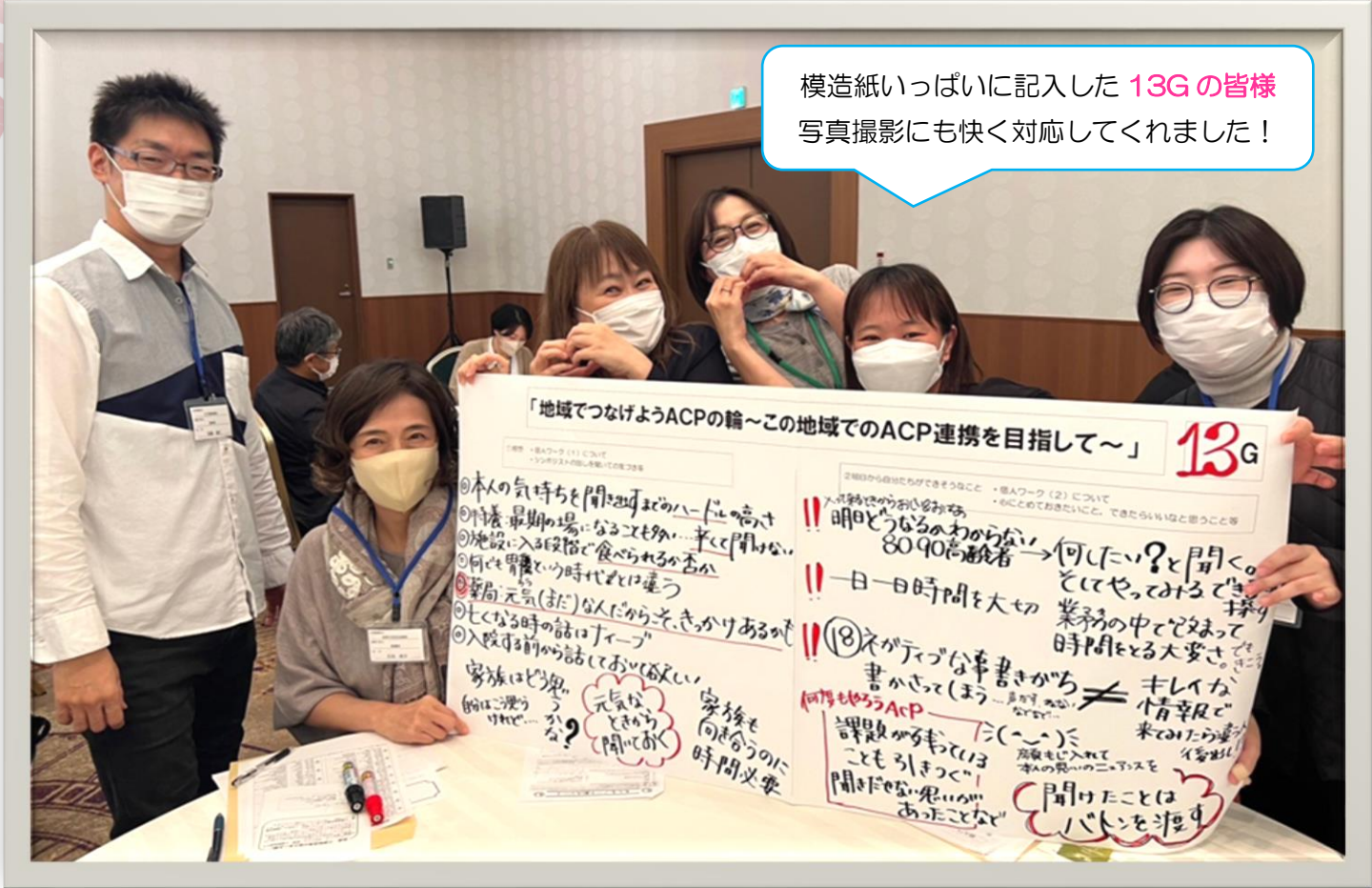
多職種連携研修

函館国際ホテル
名物の麻婆豆腐は、
辛くて美味しい



模造紙 1G から 24G の紹介
 ★記念に写真を撮影されたグループもありました★

模造紙いっぱいに入力した 13G の皆様
 写真撮影にも快く対応してくれました!

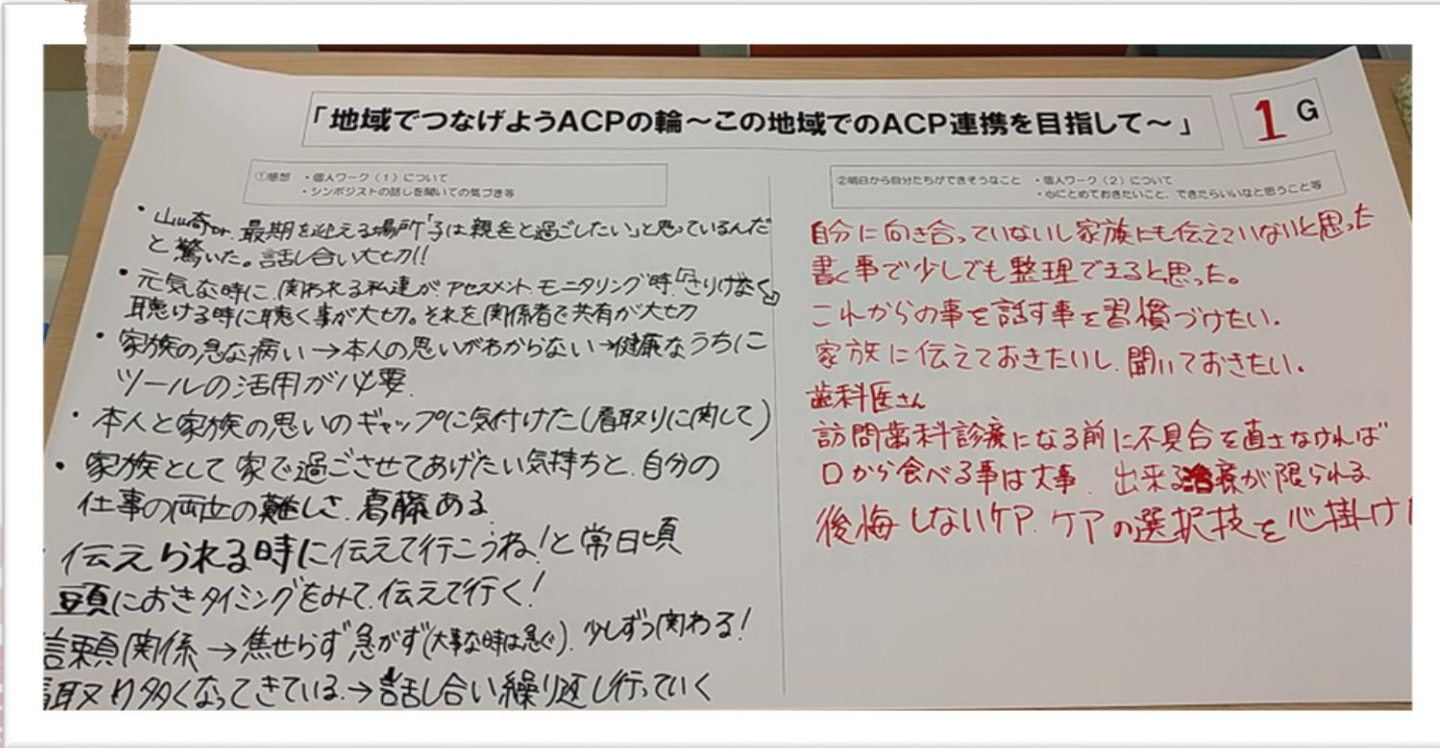


「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」 13G

①本人の気持ちと開けたいハードルの高さ
 ②介護 最期になることも多々... 早く開けたい
 ③施設に入る段階で食べられるか否か
 ④何の胃袋と時代は違ってくる
 ⑤家族元氣(まだ)本人だからさきかけがある
 ⑥七くなる時の話は「アープ」
 ⑦入職する前から話しておきたい
 家族はどう思う? 元氣なときから開いておく
 家族も向合うのに時間必要

!! 明日どうなるかわからない 8090高齢者 → 何したい? と聞く。そして、みるべき業務の中で必要な時間とる大変さ
 !! 一日一日時間を大切に 書かなくて(もう) キレイな情報で来たらいい
 !! ⑧ネガティブな事書きから 課題がでては ことも引きついで! 開いておきたいが あったこと

開けたことは バトンを渡す



「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」 1G

① 山崎さん 最期を迎える場所「子」は親を過ごさばいいと思っているんだと驚いた。話し合い大切!!
 ② 元気な時に使われる私達がアセスメントモニタリング時「語り」を聞き取る時に聴く事が大切。それを関係者と共有が大切
 ③ 家族の急な病い → 本人の思いがわからない → 健康なうちにツールの活用が重要
 ④ 本人と家族の思いのギャップに気付けた(層取りに肉して)
 ⑤ 家族として家で過ごさせてあげたい気持ちと、自分の仕事の両立の難しさに、高藤あり
 伝えらるる時に伝えて行こうね! と常日頃 豆頁におきタイピングをみて伝えて行く!
 言葉関係 → 焦せらず「急がず(大事な時は急) 必ず肉わる!
 語り又多くなるきては → 話し合い繰り返して行く

自分に向き合っていない家族にも伝えたいがと思、た 書と事で少しでも整理できると思、た。ここからの事を話す事を習慣づけた。家族に伝えておきたいし、聞いておきたい。 産科医と 訪問産科診療になる前に不具合を直さなければ、口から食べる事は大事。出来 産科が限らば、後悔しないケアの選択技を心掛け!

2

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

2G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・ふにこめておきたいこと、できたらいいと思うこと等

- ・急に言われてどうしようか悩んだ。
- ・今の自分と歳を重ねた自分 答えは変わると思う。
- ・今の段階だとどうすれば良いかと思うイメージ。
- ・今は実際に自分事として考えずらく 明日は病気になる？ 何かアクションを考えながら書いてみた。
- ・今日明日なら...と未来には変わる。親？友人？未来のパートナー？
- ・思いを推定できる
- ・真剣に想像したら悲しくなった。
- ・ケチをしたながら、想いを鑑聞けるのが一番良くなるかなと思う。
- ・自然な感じが相手も話しやすいと思う。

- ・リラックスした場面で聞く。本音をきける。
- ・支援者が事前にもメモの内容を把握しておく。
- ・タイミングが来たときに話せる。
- ・リクエスト中、夜重帯 Xゴは中、面談お互いが話しづらくないとき。
- ・タイミングじゃないけど必要なときはついでで聞く。(終末)
- ・当人たち(未妻など)がしっかり話しておく。家族は決めやすい。当たちが話しやすい環境をつくる。
- ・病院、家がいいの理由まで話す。

3

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

3G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・ふにこめておきたいこと、できたらいいと思うこと等

- ・自分の立場を家族の思い
- ・自分と家族の思いがちがうかも？
- ・妻のしほが妻のしほほど違う 時間をかけてい
- ・気持ちの変化を感じておきたい。
- ・トシと伝えたいか。 } 伝えるきっかけは
- ・身代に伝えたい。嫁 } きた
- ・最後は、トシの世話になるか。

- ・会議を行うタイミング 方法
- ・自分の経験はトシはトシの、情報。
- ・医療職からのリポート、リポート。説明
- ・トシがリーダートしてACPを始めるの。
- ・ACPを周知の多い人。
- ・広く長く、周知していく。
- ・情報をまとめるためにHP→在宅等。
- ・本人の思いと家族の思い(叔母家、家族はし)
- ・情報も伝える。

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

4 G

①感想 ・個人ワーク (1) について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク (2) について
・必にこめておきたいこと、できたらいいと思うこと等

- ・ 痛い、辛いのが嫌なので、ホスピスを考えている。
最後の段階で同じ決断ができるかどうか、中々動くと思ひ。
- ・ できれば苦痛の治療はしれない、
家族に負担をかけたくない。
- ・ 家族(夫・娘)には話をするが、本音は
病気をしたときに下しやりをした
***** 想いを伝える時は、もしもノートを活用することが良いと
改めて思ひ。
- ・ ACPをどこかをした。そのときそのときに寄り添うことが
大事だということに気づいた。

- ・ 日頃からの信頼関係が大事なのがよくわかった
でしほりな、経験がじまにやらなようにすることも大事
- ・ 自然な会話の中で、話ができるように努力したいと思ひ。
- ・ 対話の大切さを改めて感じる事ができた
- ・ 想いを伝えられる利用者さんや、家族との対話を
考えていきたい

5

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

5 G

①感想 ・個人ワーク (1) について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク (2) について
・必にこめておきたいこと、できたらいいと思うこと等

- ・ 自分が何を語り、何を聞き、関係性が大事だと改めて思った。
- ・ 関わりが早いと早いと感じた。関わりが早いと思ひながら、
しほりなで話せることにも気づいた。
- ・ 家族と話すことが大切だと、このワークショップを通して気づき、
思ひました。(言葉が通じない、関わりが難しいなど)
- ・ 自分の状況を聞いてもらい、自分も話を聞けることに気づいた。
特に1回意見交換をした。(意見交換が大切だと改めて思ひました)
- ・ 自分のことと向き合いたい。このワークショップを通じて、
利用者さんと話すことが大切だと改めて思ひました。自分も話を聞けることに気づいた。
特に1回意見交換をした。(意見交換が大切だと改めて思ひました)
- ・ 家族と話すことが大切だと、このワークショップを通して気づき、
思ひました。(言葉が通じない、関わりが難しいなど)
- ・ 自分が何を語り、何を聞き、関係性が大事だと改めて思った。
- ・ 関わりが早いと早いと感じた。関わりが早いと思ひながら、
しほりなで話せることにも気づいた。
- ・ 家族と話すことが大切だと、このワークショップを通して気づき、
思ひました。(言葉が通じない、関わりが難しいなど)
- ・ 自分の状況を聞いてもらい、自分も話を聞けることに気づいた。
特に1回意見交換をした。(意見交換が大切だと改めて思ひました)
- ・ 自分のことと向き合いたい。このワークショップを通じて、
利用者さんと話すことが大切だと改めて思ひました。自分も話を聞けることに気づいた。
特に1回意見交換をした。(意見交換が大切だと改めて思ひました)

- ・ 人生会議ノートで聞きたいことを、家族や地域の関係者に伝える
確認したい。特に寄り添った関係性の中で、自分自身で決断する
家族の意思を聞いてほしい。
- ・ もしもノートを、がらに今後のことを話していくのを、おぼろげに
確認したい。
- ・ 認知症があっても、→話が通じないが、家族や地域の関係者に
家族の意思を確認。お互いの気持ちを、一歩ずつ話していくこと
を大切にしたい。
- ・ 地域の人たちと話すことが大切だと改めて思ひました。

6

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

6G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

・まだ先の事だと思っているが、明日どうなるかを
考えて早めに考えておくことは大切だと感じた。

今考えても 時間や状況で考え方が
変わると思った。

「考えるのは難しいが、このようなやり方を
っているのと知らないのでは違う。

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

・その時々で話し方を変えて話しやすい状況
を作ること。

・家族と利用者の間に立って
聞きやすい話しやすい第三者になること。

・近い職種であれば様子をしながら
常に会話をしていくこと。

7

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

7G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

①感想
・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと

・人生会議をいかに進め、こころのことはなくホスト、ホスト
で話し合いたい
・日々の話し合いの中で、時間を取るときに思いのこもった話し
でできるようにしたい
・かたし、こころを聞くのはなかなか難しいので、口から
聞いていく
・家族は、こころは、心は、現実のことが決まると決まるとい
げない、いかなる中、も時間をとる、こころ
・個人の生活など、肉体的な中で、今後のこと、少しづつ、肉体的
に、こころの話を、為、職種、情報共有して、本人の意思を
伝えていきたい。専門職が、情報も本人に伝えていく

③感想
・個人ワーク(2)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

④感想
・個人ワーク(3)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑤感想
・個人ワーク(4)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑥感想
・個人ワーク(5)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑦感想
・個人ワーク(6)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑧感想
・個人ワーク(7)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑨感想
・個人ワーク(8)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑩感想
・個人ワーク(9)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑪感想
・個人ワーク(10)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑫感想
・個人ワーク(11)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑬感想
・個人ワーク(12)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑭感想
・個人ワーク(13)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑮感想
・個人ワーク(14)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑯感想
・個人ワーク(15)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑰感想
・個人ワーク(16)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑱感想
・個人ワーク(17)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑲感想
・個人ワーク(18)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

⑳感想
・個人ワーク(19)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉑感想
・個人ワーク(20)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉒感想
・個人ワーク(21)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉓感想
・個人ワーク(22)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉔感想
・個人ワーク(23)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉕感想
・個人ワーク(24)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉖感想
・個人ワーク(25)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉗感想
・個人ワーク(26)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉘感想
・個人ワーク(27)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉙感想
・個人ワーク(28)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉚感想
・個人ワーク(29)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉛感想
・個人ワーク(30)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉜感想
・個人ワーク(31)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉝感想
・個人ワーク(32)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉞感想
・個人ワーク(33)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㉟感想
・個人ワーク(34)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊱感想
・個人ワーク(35)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊲感想
・個人ワーク(36)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊳感想
・個人ワーク(37)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊴感想
・個人ワーク(38)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊵感想
・個人ワーク(39)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊶感想
・個人ワーク(40)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊷感想
・個人ワーク(41)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊸感想
・個人ワーク(42)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊹感想
・個人ワーク(43)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊺感想
・個人ワーク(44)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊻感想
・個人ワーク(45)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊼感想
・個人ワーク(46)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊽感想
・個人ワーク(47)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊾感想
・個人ワーク(48)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

㊿感想
・個人ワーク(49)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

感想
・個人ワーク(50)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

・人生会議をいかに進め、こころのことはなくホスト、ホスト
で話し合いたい
・日々の話し合いの中で、時間を取るときに思いのこもった話し
でできるようにしたい
・かたし、こころを聞くのはなかなか難しいので、口から
聞いていく
・家族は、こころは、心は、現実のことが決まると決まるとい
げない、いかなる中、も時間をとる、こころ
・個人の生活など、肉体的な中で、今後のこと、少しづつ、肉体的
に、こころの話を、為、職種、情報共有して、本人の意思を
伝えていきたい。専門職が、情報も本人に伝えていく

8

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

8 G

①感想 ・個人ワーク (1) について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク (2) について
・6にこめておきたいこと、できたらいいと思うこと等

- 子供の成長で考えが変化するか → CMとLT... 本音と飾りはがHP1. (飾りはない)
- 金銭面・事 (自分の) → 元気がうちは想像しにくい
- 死に直面したら気持ちが変わると思った
- 家族への負担 (介護) に抵抗ある → ニニは変わらなく = 施設への選択
- 今の状況で考えるか: 家族の状況で変化する
- 日頃の雑談から聞きたけの相談をのぞく
- 大切な想いをつげていくにはどうしたらいいか
- できるうちに考えがたいて家族と話し合っておきたい
- 「どう生きたいか」を周りと話しおくこと大切 = 人生観・価値観を共有
- 自分やいなくした後、残った人が後悔なくすせる

- 在宅 ↔ 病院 (施設) 人生観・価値観・共有 共有は一番大切 目的に相互理解
- 家族連携 誰かを 受け取り手 になるので キチン しつら い に は さ な い 対 象 者 が 安 心 し て タ イ ム ン グ (177中)
- 昔話・会話の中から引き出す (1対1で受け取る時 (何気ない時))
- 気持ちや変化を色いという色をくり返し説明する (関係) → 安心感
- 初対面でも一葉の糸糸で確認できる → 変化をうけとめる
- 医療処置の選択 → どの時点で伝えたいのか?

9

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

9 G

①感想 ・個人ワーク (1) について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク (2) について
・6にこめておきたいこと、できたらいいと思うこと等

- ① 家族の覚悟がまだ... 家族の決定の為に「もしもノート」が活用される事を望む。
- ② 1と4だけのわかりやすいパンフがあるとよいのでは? (文字が多く入りにくい印象を変えるため)
- ③ 考える事が怖く感じた。若い時から目にする(触れたい)もって身近に。
- ④ 死を考えると事自体避けたい気持ち。

- 施設として今後どのように取り組んで行きたいか話し合いをしたい。
- 家族と本人の思いを引き出せるタイミングをさぐっていきたい (サインを見逃さない)
- 薬剤師の持っている情報を共有出来るシステム作り
- ツールやアイテムを使って日常に取り入れる (ゲーム・劇・身近なものになる様に)
- 職種連携

10

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

10G

①感想
・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと
・個人ワーク(2)について
・必にためておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

- ・ 紐キカイに つながれたくない
- ・ 相前に メイワクは かけたくない
- ・ いざと 言う 時に 考えるのは 遅い ので
 今回 考えられ 良かった
- ・ 生きこる 内を 意識 したが やりた 事を
 考え くれた
- ・ 年を 経て 変 変わる ことも 自覚 できた
- ・ 社会 と 関わり は 持ち 続けた い
- ・ 病 疾 に 負 け ず 見 せ 続けた い (偉いこと)
 苦しいこと
- ・ 書き 難い 部分 も 有り
- ・ 各 項目 からの 対応 が 大切 に 感じ ます

- ・ スリートに 関わり のと 組織 が どう でき たら 好ま しい かと 考え ます
- ・ つながり でき たら よう に したい (スリート と は 関係)
- ・ 落ち 付いた 空気 に したい
- ・ 肩肘 張ら ず に でき たい
- ・ その うち 関係 構築 に 語り 合 った 環境 を
 実現 する こと を 意識 したい
- ・ 会 話 する 力 を 更 に 付け たい

11

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

11G

①感想
・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと
・個人ワーク(2)について
・必にためておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

- 言葉 どう 伝える か 重要 だ と思 います
- もし もの 時 を 考え たら 事 ない ので 改めて 考え たい 機会 に
 した い
- 自分 の 事 柄 を 整理 して 改めて 何が 大切 な
 事 柄 が あり ます
- 判断 能力 が あり たら
 どう して 関係 構築 ツール
 と 思 います
- タイミング が 重要 だ と思 います
- シミュレーション (入浴 介助) など 日常 の 何 気 ない 会 話
 中 に 関 する こと が あり ます
- 今は こう だ けど 変 化 する 事 も あり ます
- 事前 に 話 合 っ て いる ば 本人 の 望 望 望 を 叶 えられる

- ツール を 使 っ て 本人 の 望 望 望 を 叶 える 事 を 知 りたい
- ツール を 使 っ て い ざ と 言 っ た 時 に 困 ら ない よう に 活 用 し
 たい
- 本人 の 情 報 として 活 用 したい
- 本人 や 家 族 の 思 い を 関 係 づ め に 信 頼
 関係 を 作 っ て い きたい

12

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

12 G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

訪内診療
話しをするタイミング
日常会話の中で大事にする。
誕生日・記念日に話しやすい。
もしもメール、話しの手助けになりそう。
カルタを使うとゲーム感覚で話しやすい。
人月関係・信頼関係が土足で立ち入るのは...
今回の研修機会をきっかけにACPを考えた。
ACPを聞き出す話し方の工夫が必要。
「もしも」などのツールを使いやすさを。→大事な人は名前も身体も、リソースも重要。
今はその時がきたら今後について話ししたい。DNAの話はできていまだACPはまだ火がつかない。
今後ACPも必要だと感じた。
「もしも」ボタンに話しやすいかも。お酒が入ると話しやすいかも。
その人の性格もあるから、活用しやすい場、機会を。
ACPを聞き出す理由を整理する必要がある。
ACPとは何か、ACPとは何か、何を話し出すか、何を話し出すか、何を話し出すか、何を話し出すか。

いつでも聞く準備ができている状態にしておく。
話しにくい場所がない。
自分のペースに合わせたい。必ず話しやすい時間を大切に。
仕事の面では、話し出す努力が、耳が閉ざされて共有しにくくなる。
人月関係の橋(利用法)とのタイミングが話しやすいのか。
環境づくり。ツールを使うと、認知症の人だと難しい時もある。
1つ、少しづつ積み上げていける。話しやすい環境を作る。
「ACPはゆめ重水素の」に理解し、利用法を伝える。
色んな人が聞けるから、話しやすい人々から共有。
4月17日。

13

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

13 G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・心こめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

①本人の気持ちを出しやすさのハードルの高さ
②特養: 最期の場合になることも多い。辛くて聞けない。
③施設に入る段階で食べられるか否か
④何で胃腸という時代とは違う
⑤薬局: 元気(まだ)な人からさ、きっかけあるか
⑥七くなる時の話は「アイブ」
⑦入院する前から話しておいて欲しい。
家族はどう思っているかな?
家族も向き合うのに時間必要。
元気なときから聞いておく。

!! 明日どうなるかわからない → 80-90高齢者 → 何を? と聞く。そしてやるべき事。
!! 一日一日時間を大切に 業務の中でとまると時間とる大変さ。
!! (18) ネガティブな事書きがちな書かして(ま...)
!! 課題が残っていることも引きつり、聞かせるのがあったことなど。
!! 聞いたことはバトンを渡す。

14

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

14G

①感想 ・個人ワーク (1) について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク (2) について
・①のことめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

自分希望の考え方にシビアなところがある
 痛地苦痛、苦し、不安がある、何かで苦しむのではない、
 今も、その立場にいたるもの。
 普段からの家族と話し合っているのではずかしい。
 実際、仕事を話し合えば、自らの立場に決断はできない。
 がんになっていない状態で、昔ながらの明日でもたえておく
 病状と苦し、れも一トを自分でして苦しむための
 他者への説明が難しい、その立場にたい人にむけて
 関心をかけた。今の時を待たず、交際を断つおそれ
 その立場にたいしては、サインが難しい。
 家族に対しては、交際の場を、確立することもずかしい。
 家族が病院入院、検査はじり、説明はじりでも交際の
 ためのアポイントがある。

今の押しは、話しを話し合い、詳細の働き
 利用者様の生活歴から、家族の自覚度を理解すること、
 普段のペースなどの状況におおさを考えながら、詳細に
 利用者様が施設入所の際に、意思をツクリ出し、
 日中、その人の思いを押し出すように思う。
 (利用者様の施設を) 家族と話をしたい、どうしていいか
 難しい。
 施設での生活を支え、生活の中で、自覚度をとり、交際を促進。

15

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

15G

①感想 ・個人ワーク (1) について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

専門職と家族

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク (2) について
・①のことめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

思いがつかない、一人で決めていいのが
 そのときか、と気持ちか話さず、何回もやり直す必要
 簡単には書けない、一つ一つに時間がたつ。
 自分の意見がとうとうわからなくなる、難しい。
 初めてACPを聞いて、色々な考えがある中で、思いを尊重
 することは難しいと思った、怖い。
 病気を患って似たようなことを考えた、そのときの気持ちと
 一トを比べて、気持ちの違いがあった。自分とは後回し。
 経済的な話をしていた方が、気持ちよまされたこと、時間と共に変化が
 気持ちを代弁できるように、社員研修とか大事に。
 人それぞれ大切にして、ものも把握、家族に負担をかけたくない。
 利用者さんとも向き合いたい、本人に伝えるサインや家族との気持ちの
 違いがある。第三者の介入でスムーズな意見を引き出せる。

本人との会話を多く続けて、本当の気持ちを把握するために、
 実際にかかたかたに開ける日々の会話で。
 聞くことを意識、日々の話しや相手から話してきている関係性を
 家族に伝える、必要、相手から引き出す、相手の気持ちを。
 今回の研修を機に開けるように、ACPを活用できるように。(著者から)
 色んな選択を促すために、細かい説明や関わりが大切。
 病状など難しい所をサポート、世間話からキッカケをきっかけ、
 情報共有できるように。
 会話の重要性、少な、時間でも人の思いを聞き出すよう
 関わりを。
 強く促すこと、簡単な普段の会話から気持ちを

16

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

16 G

①参加 個人ワーク (1) について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

- ・ 生きる限られた時間、大切にすること、したいことのイメージが強い。
- ・ 家族にめまろけかけたくない。実際のことしかり考えない。
- ・ さいごはホスピスに頼ることも考える。もともと考えないといけない。
- ・ もともと長子3人 (病歴いろいろ)
- ・ 病気のケア、金銭的に不安。
- ・ 家族、自分が実際に立場にたたら考えるの難しい。
- ・ 子どものこともある。家で在宅サービス使いたい。家族が耐えらるのか?
- ・ 延命のことも、悩む。要するだろうな。
- ・ 家で看とした経験あり。残さるのほつらがた。
- ・ 高齢者、ふえ。人生をきりかえる時、時間とかなこと多い。
- ・ OPE前に話し合う時間もうけること、急性期では難しい。人生会ぎのタイミング...

②明日から自分たちができそうなこと 個人ワーク (2) について
・ 心に決めておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

- ・ 毎回の訪問の中で話をきく、確認していく。
- ・ 後身人としてできることもあるが、本人の負担、意向を伝えることはできる。
- ・ 健康、高山の方、多い。家族と暮らす遠の人も多い。
- ・ 利用者に関わる中で、昔の話、経験してきたことをき、かけに本人の部屋で話せばいい。
- ・ 病気の中心がたき、けり、体調ゆるいときに話せることもありそう。
- ・ 各相手にもよる。話の仕方、きき方を考えていきたい。
- ・ など、どうして?理由を確認しながら話していきたい。
- ・ 働き手が少なくなる、こい中で人の努力に頼らず、おもいをくわゆる仕組みができればいいな。

17

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

17 G

①参加 個人ワーク (1) について
・ シンポジストの話しを聞いての気づき等

書記 水江
水江 水江
木下 水江
① 葉巻師とAC
ACPとせ、お話し会かい
あり、本人で話を
知るとお話し
知った!!
Fam さんと自分の考え
お話しできるのがいい。

木下 水江
想...ゆらぎ
身は、きいておくこと
よ、お話しできること。

水江 水江
メモリーとは、
どんな医療???ばかりに
お話し、お話し
どんなお話しをききたいか?
に重なるお話し、お話し。

水江 水江
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し

水江 水江
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し

②明日から自分たちができそうなこと 個人ワーク (2) について
・ 心に決めておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

木下 水江
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し

水江 水江
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し

水江 水江
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し

水江 水江
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し

水江 水江
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し
お話し、お話し

18

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

18 G

①感想 ・個人ワーク (1) について
・シンポジストの話を楽しんでいる気づき等

遺言? 色々想像で私。

- 言ったことがあり、でいなく書いた
- 又モシ、アとりながら話しやすい
- 家の方針は話しやすい
- 方言と在宅の利用者であるか、対応
- 変わってくるのて難しい
- 耳戴本重、かつも対応が変化する
- 聞くとタイム
- 対象者が身近な人がなくなっているから
- アプローチ方法を考える
- 子供が親に聞くのがいいと思うが、
- 聞けないケースが多い。

2明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク (2) について
・6にためておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

- 葉見に聞いてみる 家にナリサなくおいても書いてくれない
- 生きている内に恩恵に合う。
- 自分もしみる等と話ししてみる。
- 二人は死にはいやま」とか意見聞きた工夫
- 一喜し、人は形があるうさに見付けたい
- これから見守り体制につなげる

19

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

19 G

①感想 ・個人ワーク (1) について
・シンポジストの話を楽しんでいる気づき等

- 現状の中でとかい
- 着陸の時間とかはあつた
- 基礎の命守りえい
- 自分もその部分(事故)がえいして
- 現状の書きだつたことと書いたこと
- 知る大いかならないと思ふ
- 日加の場面の中で対応できること
- 意見の少ない時間か多い
- 画面に描いた書きだつたことと見ると
- 自分の意見のあつたことと見ると
- 区別がわかるように
- 今0年とかはあつたことと
- その時ではあつたことと思ふ

2明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク (2) について
・6にためておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

- 近期的に兼用者の活用と大きなことではない
- そのための旅先と大きなこと、新設棟の信頼をいかに
- 個別ケアに開く重要性、その業務の中を義務に
- 地域の資源とそれに活用される選択があること
- その他は連携、軽微の案件、皆業務の立場にはあつた
- 経済連携、見ても業務のほうへの道の

20

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

◦ 自分の思いを矢口っておいてくれる人を
自分の中で考えておく必要がある。
親しい周囲の方は、現実を受けとめ
たくないという心理がある。

- 日常生活の中で、ご本人の言動・行動の中
から、意向を読み取り、家族とこ
すり合せを行い、決めていく。
- ご本人にとって何ができるかを考えながら
多職種からご本人にあった提案を
していく事が大切。

21

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

21G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聞いての気づき等

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・心にとめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

(1)について

家族・子どもに知識・理解が少ないとき専門職
に伝えてもらいたい → たづねでなし
1番 → 身体的にそのときよって考えが変わる
面づくりに感じている → してないと申し訳ない
伝える相手によつて変わることも、普段の会話
変わっていくのが当たり前

- 業上生活にコミュニケーション・話を進める。
- 本人と家族への普段から関わり
- 病気でせまってる方、見とりの方へ最期に
向ってできることの施設でのツレキマ
してあげたいけどできないこと(家・他ならでき)
- 誰にでもできるものではない、信頼関係を築く
- 家族だけでなく、専門職として話せること、
支援の輪の中だけでも話していければ、情報共有
- 本人と関わっている人・支援者に確認しながら
準備していく。

「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」

24G

①感想 ・個人ワーク(1)について
・シンポジストの話しを聴いての気づき等

「ポイント時間」
時間)の想定が良かった。 行うタイミングが良かった。
病態気にはなるが、いかに伝えるかが重要 → 考えと伝わり。
「おまかせ」イメージが強い。
実際に言入れて、取っ手は答えを出せぬ。
色々気持ちはあると思う。
急には考えすぎず、考え時間・意味の重要性
くり返し周囲の認識を大きく広げたいと思つた。
その時に行うタイミング → その時大向いてほしい。
病状の進行や状況で変わってくる。

② ①の質問の答えが皆バラバラだ。
共通に言えるのは、答えを出す必要はない。
自分の思いと家族の思い、家族間の思いが違ふところ。

②明日から自分たちができそうなこと ・個人ワーク(2)について
・おこめておきたいこと、できたらいいなと思うこと等

・ただし会話が早い人は話をのこす。
・XBB2にまでして... あるいは方向性で行く。
・入居の介護で出た意向の職種と異なる。
・入居の会話が通じにく。信頼関係がなくて
行く。コミュニケーションがうまく真接し
説明の側が強いし、伝え方が不選択で出し
真接し、自分自身の気持ちも伝えたい。
信頼関係が...と真接し話しをしてほしい。
月齢職種連携が大事。